

添付 4.4-8 被介護者ヒアリング結果

ヒアリング実施：3月13日（木）10：30～10：45

（1）受講生より、説明された被介護者データ

藤沢市在住 Mさん 85～86才

在宅でケアを受けている。酸素ポンペを使用しながら、生活。

- ・ケア・マネージャーも、事業所Aに依頼
- ・市民病院や近くの病院に通院するのに、事業所Aの車での送迎・介助サービス（通院援助）を利用。その他の外出希望も、他の方に比較して目立って多い。
- ・家事援助は他の業者に依頼

（2）ご本人、ご主人へのインタビュー

1 ヘルパーの介護技術で気になることは？

（ご主人）：よくわからない。

（ご本人）：回答なし。

2 ヘルパーの支援で、この3月になってから変化はあったか？

（ご本人、ご主人ともに）

- ・ずっと信頼しているヘルパーであるということを繰り返し言われる。
- ・変化を示すコメントは得られなかった。

3 現在ヘルパーに入浴の支援を受けているか Noだったが、入浴に関する質問を行った。

《入浴の様子》

- ・夜は冷えるため、昼に入浴することになっている。
- ・ご本人が自分で入浴できる状態なので、ご主人は見守りをしている。
- ・家事援助のふる場の清掃などは、その時間帯にあわせて家事援助のヘルパーに依頼している。

《入浴支援について望むこと》

（ご主人から）

入浴介助のヘルパーを現在依頼するつもりはないが、例えば、風呂場の手すりをどこにつけてよいのかも、自分では判断できない。そうしたことについて、専門家のアドバイスが欲しい。

（ご本人から）

毎回ではないが、ご主人が背中を流してくれるとのこと。

「私がやるより、ヘルパーさんの手の方が柔らかくていいかもしれない」と、ご主人が言うが、

「ヘルパーさんをお願いしたいですか？」との問いに対して、ご本人はyesと言わなかった。

「ご主人の方がいいんですね？」と重ねて聞くと、笑顔になった。

【備考】

このケースは、

- 1) 入浴を通じて夫婦間のコミュニケーションが深まっている。
- 2) 入浴時間にも、自分たちで決めたルールがある。

1) 2) のような自分たちのスタイルを守りつつ、バリアフリー化など、自分たちで対処できない部分について、手助けを求めているといえるのではないかと思われた。

4、あなたにとって理想のヘルパーとは、どんな人か？

(ご本人から)

- ・ さん(受講生)を、最も理想的なヘルパーだと考えている。
- ・ 信頼できる人柄で、希望(ニーズ)にあわせた対応をしてくれる。

(ご主人から)

- ・ 受講生に対して、ご本人と同様の評価。

【備考】

家事援助のヘルパーに対して

(ご主人から)

ご主人ができる部分は、ご主人が家事を担当。野菜を細かく刻むことなどを頼むが、快く応じてもらえる。

(ご本人から)

麻雀が好き。リハビリにもなると思う。ヘルパーさんと一緒に、そういったこと(麻雀)もしてみたい。

5、現在のヘルパーに望むこと

- ・ 最も理想的なヘルパーだと考えている。
- ・ 送迎は、同じ人だと安心できる。